





和室棟 イメージパース

和室棟(案)



旧臼杵藩主 稻葉家下屋敷（国登録有形文化財 旧稻葉家別邸）

旧稻葉家別邸は、廃藩置県後に伴って東京へ移住した旧臼杵藩主・稻葉家の臼杵滞在所として、明治35年に建築されたものです。

敷地内にある建物は、平成初めに白漆喰壁や瓦屋根、板材を改修しています。

和室棟の外観は、例えば右上の臼杵市にある臼杵藩主稻葉家の下屋敷の敷地にある建物をイメージしています。

この場所がかつての延岡城の一部であったことや、廃藩置県後も旧藩主の御殿があったことを踏まえ、城下町延岡や和の空間を創出する考えです。

また、市民の皆様にも多様な文化活動・交流拠点となる場、そして日本庭園と一体となる整備を行い、憩いの場となる和室棟を建築します。

建物の内外部には、延岡市産材を使用します。



このような、聚楽色(じゅらくいろ)にしてはどうかとの御意見もありますが、市としては左上のような、かつての西ノ丸にあった邸宅をイメージした案を考えております。

この点につきましても御意見をいただければ幸いです。

蔵周りの景色 イメージパース



蔵周りに整備する板塀は、例えば右の臼杵市にある臼杵藩主稲葉家の下屋敷の敷地周りにある白漆喰及び板塀に瓦屋根を乗せた外塀をイメージしています。

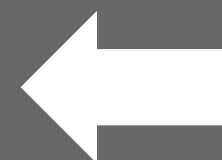
城下町延岡の風情や和の空間、藩主の御殿があったことを感じられる空間を創出しています。

また、板塀や奥に見える冠木門には、延岡市産材を使用します。

旧臼杵藩主 稲葉家下屋敷（国登録有形文化財 旧稲葉家別邸）

旧稲葉家別邸は、廃藩置県後に伴って東京へ移住した旧臼杵藩主・稲葉家の臼杵滞在所として、明治35年に建築されたものです。
敷地の周りには、瓦屋根や白漆喰板塀による外塀が巡っています。

蔵（休憩所）外観 イメージパース



蔵は、例えば右の臼杵市にある臼杵藩主稲葉家の下屋敷の敷地周りにある蔵をイメージしています。

戦後も残った蔵は、1階部分を休憩所等として活用し、城下町延岡の風情や和の空間、藩主の御殿があったことを感じられる空間を創出しています。

また、内部や窓には、延岡市産材を使用します。

旧臼杵藩主 稲葉家下屋敷（国登録有形文化財 旧稲葉家別邸）

旧稲葉家別邸は、廃藩置県後に伴って東京へ移住した旧臼杵藩主・稲葉家の臼杵滞在所として、明治35年に建築されたものです。

敷地内にある蔵は、市内の観光パンフレットの配置したカウンター等を設置しています。

蔵（休憩所）内部 イメージパース

